

PM資料ガイド

| | | | | |
|----|---|------|----------|------|
| 項目 | Project Management プロジェクトマネジメント Modern Project Management | Rev. | 年月日 | 作成 |
| | | 0 | 01/03/11 | 富田正道 |
| 対象 | 一般 | | | |
| 視点 | 参考図書紹介 | | | |

プロジェクトマネジメントとは一体なんなのか。どのような分野でどのように適用されているのか。こんな疑問に答える参考書を一冊紹介します。プロジェクトマネジメントの教科書を手にするまえに一読する、そんな書物です。1998年にアメリカで出版されたものですが、洋書を扱っている書店で入手できると思います。

Kerzner, H. "In Search of Excellence in Project Management : Successful Practices in High Performance Organizations ", Van Nostrand Reinhold, 1998

この本は、アメリカの企業におけるプロジェクトマネジメントの適用状況調査報告といったものなのですが、著者の視点で「エクセレント」と評価した事例を紹介しながら、現在および今後のプロジェクトマネジメントのあり方を述べるというストーリーになっています。

著者は、1985年から1993年をプロジェクトマネジメントのルネッサンス期、それ以降を「モダンプロジェクトマネジメント」の時代としています。そして、著者のいうモダンプロジェクトマネジメント実現の要素として、次の6項目を挙げています。

- Integrated Management Process
- Culture
- Management Support
- Training and Education
- Informal Project Management
- Behavioral Excellence

この六つの視点から、プロジェクトマネジメントのあり方を述べ、優れた事例を紹介していく形で本書が構成されています。全体としては、これからのビジネスは、project-driven型になる、そんなスタンスが読み取れます。

本書には、プロジェクトマネジメントの「エクセレンス度」および「マチュリティ度」を判断する問いが添付されています。それぞれ、次のようなものです。

Appendix B Project Management Maturity Questionnaire

プロジェクトマネジメントに関する自己の組織の状況を問う20項目に対してどのように

判断するかを、 - 3 : Strongly Disagree から + 3 : Strongly Agree までの 7 状態で評価を行なう。この結果を Embryonic から Maturity までの 5 ステージ別に集計して状況を判断するシステム。

Appendix C Project Management Excellence Questionnaire

プロジェクトマネジメントに関する自己の組織の状況を表わす 42 項目に対して、夫々の項目ごとの選択式回答を行なう。この結果を Integrated Process、Culture、Training and Education など、モダンプロジェクトマネジメントを実現する六つの要素別に集計して評価するシステム。最後に総点数をどのように解釈するか簡単な説明がある。

これらに答えると、本書でエクセレントだと紹介された企業をベースにしたベンチマーキング、すなわち、プロジェクトマネジメントに関する自己の組織の現状を認識できるようになっています。

また、Chapter 10 Training and Education には、社内の教育プログラムなどについて、本書にとりあげられた企業のうち、USAA (保険業)、Ford Motors、B.F.Goodrich その他の事例が紹介されています。

この本に登場するエクセレントなカンパニーの主役は、エンジニアリング業とか建設業といった企業ではないことを付記しておきます。